

緑の風 NEWS

 JR東労組


JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2023年 8月 8日 No. 21

命を奪われかねない重大な事故

私たちは課題の改善を求めます！

8月5日21時24分頃、東海道線大船駅構内（藤沢～大船間）にて、列車が斜めになった電化柱と衝撃する事故が発生しました。列車前面の運転士側や先頭車両客室ドアの鴨居部分が大破し、運転士とお客さま3名が怪我をし、長時間の駅間停車により体調不良の症状を訴えるお客さまも多数発生しました。また、東海道線、横須賀線、京浜東北・根岸線で運転を見合わせ、複数の列車が駅間停車するといった事象が発生しました。



事故に遭遇した組合員からの意見

- ・指令に問い合わせてもすぐ切られる。「クラウド指令を見てください」と言われたが、みんなが閲覧しているため、繋がらない。
- ・救済の準備が出来たが指示がなく、長時間車内待機となった。
- ・運転台前面ガラスに飛散防止フィルムが貼られ、窓ガラスが飛び散らない対策がされていたが、電化柱の破損状況や運転台の破損状況から見ても一歩間違えば運転士は命を落としていたかもしれない。
- ・車内の天井が相当な衝撃で押しつぶされて破損している状況を見ると、車内が混雑していたらお客様の命も奪ったかもしれない。
- ・非常梯子を使用した避難誘導をこれまで経験したことがないながらも、日頃の訓練や教育を通じて対応することができたが、お客様の誘導方法などについては課題があった。
- ・電化柱の管理は適切に実施されていたのか。
- ・2014年2月に発生した川崎駅構内・京浜東北線脱線転覆事故を思い起こした。

これ以上 JR 東日本の信頼を失わせないためにも、

事象の解決に向け、JR 東労組は原因を究明します！

この事故・事象に関するご意見はお近くのJR東労組役員までお寄せください！